

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します



### 新 行政庁舎等照明設備LED化事業

1億1,668万円(※)

(担当：管財課財産係)

市行政庁舎等における照明設備のLED化を進め、消費電力及びCO<sub>2</sub>の排出量の削減を図ります。

LED化により、消費電力及びCO<sub>2</sub>排出量は60%程度の削減が見込まれます。

※令和4年度から令和14年度までの事業費総額(債務負担行為)

### 新 電気自動車購入支援事業 100万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化防止対策として、市民又は事業者が電気自動車を購入する際の費用について、補助金を交付し電気自動車の購入促進を図ります。

[助成内容]

○電気自動車の購入に要する額  
(1台当たり10万円)

財源 県の負担額 100万円

### 移住定住支援事業

3,209万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

#### 定住促進事業補助金

若者世代の転入促進及び多世代同居の促進に向けて、住宅の新築・購入・増改築に係る借入金に対し、毎年末借入金残高の5%の範囲内で、年額上限20万円を3年間助成します。

#### 空き家利活用推進事業

空き家を有効活用した移住定住の促進を目的として、空き家バンクを開設しており、空き家を売却または賃貸したい所有者と空き家の利用希望者とのマッチングを推進します。

また、空き家バンクを利用して、空き家を取得または3年以上賃貸した転入者が当該空き家のリフォーム工事を行う場合、工事費の1/2(上限40万円)を助成します。

#### 移住定住サポート事業

地方移住に関するワンストップ窓口として移住定住支援員を配置し、住まい・仕事・各種支援制度などに関するオンライン相談や首都圏等でのイベント参加のほか、お試し移住滞在中の市内案内などの対応を行います。

また、移住促進を積極的に支援するくりはら移住定住コンシェルジュなどとの官民連携によるきめ細かな対応を行い、移住につなげます。

財源 県の負担額 43万円  
市の負担額 3,166万円



暮らし・仕事に関するオンライン相談会

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します



### 公営住宅建設事業

1億3,294万円

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住・生活環境整備を行うため、老朽化の著しい公営住宅の建替事業を行います。

- 【継続】《高清水》市営五輪東住宅 建設
- 【継続】《一 迫》市営鶴町住宅 建築設計
- 【新規】《若 柳》市営塚原住宅 入居者移転

財源	国の負担額	6,015万円
	市の負担額	7,279万円



市営五輪東住宅建設予定地  
(造成工事着手前・敷地北側)

### 道路整備事業（都市計画街路事業含む）

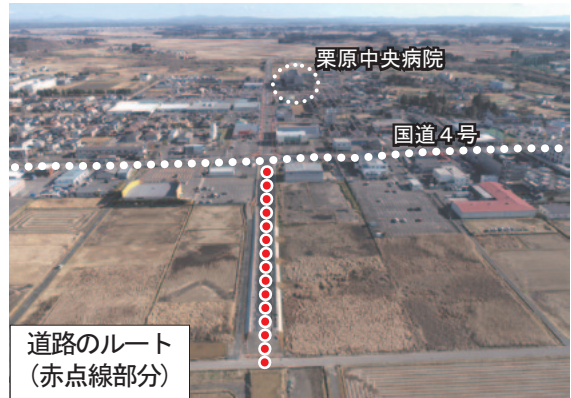
2億1,513万円

(担当：建設課建設係、都市計画課都市計画係)

安全で快適な道づくりとして、市民の生活基盤である道路の整備を行います。

《築館》栗原中央西線、一迫南線、駅前大通線

財源	国の負担額	1億2,053万円
	市の負担額	9,460万円
	(うち市債〔借入額〕)	8,220万円



道路のルート  
(赤点線部分)

整備が進む栗原中央西線（築館地区）

### 地域交通対策事業

3億4,199万円

(担当：市民協働課地域振興係)

利便性の向上と持続可能な運行を目指し、乗り継ぎを考慮した運行時刻等の見直しを行うとともに、地区内に買い物施設等がない地区の対策として、令和3年11月からタクシー助成による調査事業を行っており、結果を踏まえ、今後の運行形態を検討します。

また、令和3年度に引き続き、令和6年度以降の公共交通ネットワークの構築に向け、「栗原市地域公共交通計画」を策定します。

財源	県の負担額	545万円
	市の負担額	3億3,654万円
	(うち市債〔借入金〕)	3,000万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します



### 交流・移住プラットフォーム創出事業

368万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

都市部と栗原をつなぐ移住・交流拠点として設置している東京及び仙台のくりはらオフィスを中心として、移住推進と交流人口の拡大に向けた取組みを展開します。

財源	県の負担額	184万円
	市の負担額	184万円

### 飲料用水浄化施設等設置助成事業

60万円

(担当：環境課生活環境係)

水道水の供給が困難な地域に居住する市民に対し、飲料用水等の浄化施設を整備する費用について、補助金を交付し公衆衛生及び生活環境の向上を図ります。

〔助成内容〕

○整備費用の1/2に相当する額  
(1戸当たり上限額60万円)

## (2) 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します



### 若柳総合文化センター施設整備事業

441万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

建設から27年が経過している若柳総合文化センターについて、大ホール舞台機構設備等に摩耗や劣化がみられることから、大ホール舞台機構設備改修の実施設計を行います。

### 栗原市20周年記念誌発行事業

27万円

(担当：教育総務課総務係)

令和7年度の合併20周年に合わせ、市制発足時からの栗原市の歩みをまとめた合併20周年記念誌の作成作業を開始します。また、記念誌作成のために収集した資料を基に、栗原市史の編さんに取り組みます。

### 民俗資料館整備・運営事業

55万円

(担当：文化財保護課文化財係)

旧富野小学校校舎を改修し、民俗資料館として整備するために、建物等の現況調査を行います。



現況調査予定の旧富野小学校校舎

### 志波姫公民館整備事業

1億9,021万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる生涯学習の拠点として、安心して利用できる公民館を整備します。



建て替え前の志波姫公民館

財源	市の負担額	1億9,021万円
	(うち市債【借入金】)	1億7,950万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」



## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

### 新 防災広報無線戸別受信機設置事業

3,835万円

(担当：危機対策課防災係)

高齢者等世帯を対象に、防災行政無線戸別受信機設置の拡充を図ります。



防災行政無線戸別受信機

### 自主防災組織活動支援事業 490万円

(担当：危機対策課防災係)

自主防災組織が行う防災訓練などの経費や防災マップの新規作成経費への助成に加え、防災マップの更新経費へ助成します。

<助成内容>

自主防災組織活動支援事業	交付対象経費の合計額の2/3の額。 上限30,000円
--------------	--------------------------------

防災マップ作成支援事業	新規作成	データ作成	上限50,000円
		印刷経費の2/3	上限50,000円
	更新作成	データ作成・印刷経費	上限50,000円

### 災害から市民の生活を守る道路整備

11億8,613万円

(担当：建設課建設係・維持係)

道路・橋梁の点検結果に基づき、計画的な修繕や架け替えを行うことで、施設の長寿命化を図り、市民の安全な生活環境を守ります。

《若柳・志波姫》大林線（仮称）栗原東大橋  
《全市》市道・市道橋長寿命化対策事業

財源	国の負担額	6億5,133万円
	市の負担額	5億3,480万円
	（うち市債〔借入額〕	4億7,500万円）



整備が進む大林線（仮称）栗原東大橋（若柳・志波姫地区）

### 耐震診断・耐震改修工事促進助成事業

1,935万円

(担当：建築住宅課建築係)

大規模地震による住宅被害を減少させるため、昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断士を派遣して耐震診断並びに耐震改修設計を行います。さらに、耐震診断に基づいた耐震改修工事に対し助成を行い、安全・安心な居住環境の確保を支援します。

- 木造住宅耐震診断助成事業  
耐震診断士の派遣、診断、設計の支援
- 木造住宅耐震改修工事促進助成事業  
木造住宅の耐震改修工事への助成

財源	国の負担額	892万円
	県の負担額	446万円
	市の負担額	597万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」



## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

### 消防車両、高規格救急自動車整備事業

9,445万円

(担当：消防本部警防課警防係)

老朽化した消防ポンプ自動車と、高規格救急自動車を更新します。



更新する消防ポンプ自動車



更新する高規格救急自動車

財源	国の負担額	1,486万円
	県の負担額	193万円
	市の負担額	7,766万円
	(うち市債[借入金])	7,740万円)

### 消費生活相談窓口設置事業 559万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

契約トラブルや悪質商法等、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、専門知識を有する相談員を配置し、相談に応じます。

〔相談窓口〕

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時  
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

### 栗原市総合防災訓練

400万円

(担当：危機対策課防災係)

災害に対する備えの充実と強化を図り、災害時の被害を軽減させるため、栗原市総合防災訓練を実施します。

本年度は、令和4年6月12日(日)に「栗原市サン・スポーツランド栗駒」において、地震、火災などを想定した訓練を実施する予定です。



防災訓練の様子

### 交通安全施設整備事業 720万円

(担当：危機対策課防災係)

交通事故防止のため、カーブミラーやガードレール、道路標示などを整備します。



更新したカーブミラー